

No. 88
2016.8.1

宇治田原町 議会だより



《目次》

- 6月定例会・委員会報告・5月臨時会…………… 2～4P
- 6議員が町政を問う…………… 5～11P
- 議会改革の取り組み…………… 12P
- インタビュー（脇田勝行さん）…………… 13P
- 18歳選挙権始動・議会報告会のお知らせ… 14P

6月定例会

を議会活性化の一環として、開始

〈常任委員会・特別委員会の中で自由討議を実施〉

総務建設常任委員会

平成28年第2回定例会は、6月9日から23日まで開催した。予算関係1件(補正予算)、条例関係2件(改正2件)、一般議案2件、報告2件が提出され、いずれも原案通り可決した。一般質問には6人の議員がたち、活発な議論を展開した。

自由討議

個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

問 マイナンバー制度に関して、セキュリティ対策が万全と言えない中で、デメリットを上回るメリットはあるのか。

答 所要条件を審査する項目で、町外からの転入者が、転出先に戻らなくともマイナンバーシステムを利用して確認が可能。また、健康診査等において、個人の健康管理から予防を含め、法的に許される範囲の中で管理できることなどが今後見込まれる。

返 セキュリティ面での危険が大きく、住民が不利益を被らないよう、これ以上拡大するべきではない。システムを作り上げる上での費用及び事務の負担を考えればデメリットしかない。

質 法律で決まったことであり、現実にシステムとして運営されており、その目的は世界最先端のIT国家を作るという大前提がある。宇治田原町だけが実施しないということはできない。

質 セキュリティ問題については、ヒューマンエラーも発生するが、かなり強固なシステムを構築し、緊張感を持った取り組みが必要である。デメリットを上回るメリットを期待しているところであり、10項目の独自分野ももっと拡大するべきである。

土地の取得について

問 平成27年度の事業で繰り越した部分についての状況はどうか。

答 地権者数としては4名であったが、2名は契約済、残る2件は、現在交渉を継続している。

問 用地買収できなければ、29年度以降の現場での工事着手に影響を与えるのか。

答 28年度分及び繰り越し分併せて、早期に交渉、契約できるように進めていきたい。29年度予定で工事に入っていくが、ネクスコと協議する中で判断していきたい。

(可決・賛成多数)

じん芥収集車の取得について

問 ラッピングについて、別契約ですとの説明があったが、別契約ではなく、当初契約とすべきである。なぜ当初契約

反対討論

特定個人番号の利用についての条例改正

安本 修議員

今回の条例改正で、マイナンバーの利用が、町独自の事務にも拡大。情報漏えいを防ぐ完全なシステム構築は不可能であり、利用の拡大は、情報漏えいの可能性を大きくする。



現在のじん芥収集車

議員間自由討議

6月定例会

文教厚生常任委員会

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する

*改正内容

小規模保育事業等の職員の配置要件を弾力化する。

*家庭的保育事業とは
家庭的保育事業・小規模保育・居宅訪問型保育事業・事業所内保育事業等をいう。

問 現在、宇治田原町にはないが、今後考えられる事業は、具体的にどのようなものを想定しているのか。

答 待機児童は出ていない状況であるが、女性の社会進出、低年齢児からの受け入れが多くなる傾向。また、少子化を防ぐ

施策も打ち出しており、

民間の事業所内保育所の有効活用の動きも出ており、そういった場合にも備えた形で、国の基準に合わせた改正としている。

問 全国的に見れば、保育所等の死亡事故も起こっており、基準を緩和すべきではない。町としての考えは。

答 規制緩和については、安全面において慎重な対応が必要であるが、保育士と同等の知識あるいは経験を有する者、幼稚園教諭の資格を有する者など、一定の資格を持つた者であるので、保育士が確保できない状況において、やむを得ない規制緩和であると考えている。
(可決 賛成多数)

反対討論

家庭的保育事業等の基準を定める条例

今西 久美子議員

保育士配置の要件等が緩和されるが、全国では規制緩和で保育所での死亡事故が増えている。子どもの命と安全を脅かす規制緩和ではなく、基準は厳しくすべき。

補正予算特別委員会

観光まちづくり促進事業

問 宗円生家の進入路改修について、観光振興計画全体構想の中での位置付けは。

答 2カ年かけて観光振興計画を策定し、あるべき姿を求める内容となっており、進入路の改修については、緊急的安全確保の観点から実施したい。

くつわ池の整備

問 貴重な観光資源であり、根幹的な部分は町が整備すべきであるが、地元生産森林組合と協議し全体計画に沿って年次的に実施する考えは。

答 くつわ池自然公園については、魅力あるものを作りたいと考えている。地元生産森林組合と建設整備に向けた協議会の場をもって、定期的に開催し進めていきたい。

地域子育て支援センター拡張事業

問 駐車場が不足では。相談室の設置は。子どものトイレの設置は。

答 駐車場は、奥の方まで駐車スペースがあり、完成時に区画整理を行



くつわ池自然公園



現在の子育て支援センター

う。
相談室は、プライベートスペースを確保し、相談体制を整える。トイレは、子ども用の便座への取り替え及び補助便座の活用により、2カ所のトイレを有効利用していく。

通級指導教室運営事業

問 週1回の通級が対象となる子ども達に対する指導・支援に適したもののなか。
答 1人1人の障がいの程度状況をみて、保護者と十分な相談をした上で詰めていきたい。

自由討議

答 宇治田原町の子育て支援は、すばらしいと言ってもらえるまじづくりが重要であり全国的な

問 地域子育て支援センター拡張移設事業について、職員室の奥の狭いス

ペースでの運営が解消され、広いスペースが確保され事業が行われることは非常に良いこと。暫定的な措置ということで、一日も早く新庁舎の中に複合施設として、設置されることを願うとともに、包括的な子育て支援の体系ができることを期待している。

また、通級指導教室運営事業について、保護者間の情報交換は、非常に大事である。保護者の方は、我が子の状況を見ながら、不安を抱えておられる中で、他の保護者の方たちと情報を共有することで安心感を得られると思う。そういう意味では、保護者の方のご意見も聞いた上で、是非ともそういう情報共有の場づくりを期待する。

5月臨時会

国民健康保険特別会計補正予算

問 第1期の健全化計画から第2期健全化計画の2年間分の推移の中で、第1期の5ヶ年で累積赤字が解消されなかった。また、第2期の最初の年も赤字となっており、第1期の反省を活かして、第2期目の2年間の総括と考える。

答 医療費が急激に伸びている中、特定保健指導や生活習慣病等、いろいろな検診の実施、今年度保険税の改定等を行ったが、それでも追いつかない状況である。第2期の計画で2年が過ぎ医療費

平成28年第1回臨時会は、5月17・18日の両日に開催され、予算関係1件(補正予算)、条例関係1件(専決)を原案通り可決した。

国民健康保険税条例の一部改正

が急激に伸びており、残り2年で解消していくのは難しい状況である。

問 国保の赤字財政は、全国的に構造的な問題であるが、医療費の増加で類似団体町村の状況を見ると、宇治田原町の1件当たりの医療費が大きいのが特徴である。医療費の分析をし、健康増進計画と整合性を持たせる中で、中長期的に対策が必要と考えるが。

答 1件当たりの医療費が大きいのということで、今後はきちっと精査していかなければならないと思っている。

反対討論

安本 修議員

保険税の引き上げもあり、限度額に近い階層での負担は大変大きなものとなる。町として、国保財政への国の負担割合をもとに戻し、引き上げるよう国に物申すよう求める。

(承認・賛成多数)

(可決・全員賛成)

一般質問

ズバリ! 町政を問う

6月14日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	件名
1	谷口 重和	1. ため池の改修を急げ 2. 山手線・宇治木屋線の工事決定は
2	今西久美子	1. 防災対策の強化を 2. ゴミの戸別収集を 3. 就学援助の拡充を
3	山内実貴子	1. 英語に親しむ取り組みを 2. 防災マップの活用を 3. 18歳選挙権への周知と対策は
4	垣内 秋弘	1. 山手線、ルートの見直しは 2. 新市街地の整備と見直しは
5	内田 文夫	1. 施設に於ける教育の捉え方は 2. 一貫教育、施設一体型で
6	原田 周一	1. 5歳児健診の実施を

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴のためには本会議当日に町役場2階総務課で受付をしていただきます。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

ため池の改修を急げ

【答】町の補助金等を活用する

【質 問】

ため池調査もほぼ終わり、これから水の不必要な時はため池の水量調整を防災の観点からする必要がある。また、ため池管理者の責任を和らげる為にも改修を、手法として予算的にも可能な余水

吐けでの水量調整工事、そして不必要なため池は処分すべきでは。

【答弁(総務部長)】

施設管理者、所有者の責任の再認識。そして事業実施にあたっては、町の補助金等を有効に活用し安全対策に取り組む。



危険なため池



谷口重和
議員

山手と宇治木屋線、工事決定の確約、確定は

【答】事業着手準備調査に取り組む

【質 問】

住民会議において要望・陳情を行う中、宇治田原山手線全線開通と、宇治木屋線工事の確約・確定はいつ頃になるのか、工程作業に入るのいつ頃か。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

新規事業に向けた事業着手準備調査に取り組んでいただけることとなり、本町としても都市計画マスタープランの改定を確実に進める。両道とも事業化となれば、工程も見えてくるのではないかと考える。

スマホで見つけ隊の設置を

【答】アプリの開発費用が高額

【質 問】

危険箇所や不備な設備

箇所等があれば、スマホで撮ってピクチャーと事

情を役所へ送る、結果を投稿者へスマホで返す見つけ隊や、ボランティア活動を通じ政治に参加を呼びかけては。

【答弁(総務課長)】

住民が町政に関心を持

ち、スマホ世代がまちづくりに参加していただくのは町を担う人材育成からも有効であるが、アプリ開発費用は高額であり費用対効果の検証も必要と考える。

ライドシェアの研究を

【答】本町の特性に応じた手法を

【質 問】

京丹後市ではライドシェアの実用化に向け実証実験を行っている。本町も交通手段として十分研究する余地はある。原

課はどうか。

【答弁(建設環境課長)】実態調査やニーズの把握に努め本町の特性に応じた手法を研究し見出し、ていきたい。



宇治田原山手線

防災対策の強化を

【答】しっかりと防災・減災対策に取り組む

【質 問】

4月に起きた熊本地震

は、甚大な被害をもたらしたが、これまでの災害の教訓が生かされていないとの指摘がある。平時に自治体がやるべきことは、これまでの自然災害による被害が明らかにしている。町として教訓と

すべきことは何か。

【答 弁（総務課長）】

考えられる災害に対応した取り組みが大前提だが、地域の自主防災組織による防災訓練、防災教育などが必要不可欠。改定した防災マップ等を活用いただき、災害に対する心構えを日頃から考え

ていただくことが大切だと考えている。

【質 問】

災害時に地域防災計画がしっかりと機能するよう、防災対策のさらなる強化を。

【答 弁（町長）】

災害時の対応が円滑に行えるよう、しっかりと防災・減災対策に取り組んでいく。

【質 問】

障がいを持つ方や、高齢者、妊婦などが利用する福祉避難所の内、やすらぎ荘は土砂災害警戒区域内に、保健センターは

浸水想定区域内にある。福祉避難所を増やすべき



今西久美子 議員

では。

【答 弁（総務課長）】

昨年、新たに2か所を指定し、4カ所とした。新たな指定については、今後検討していく。

【質 問】

罹災証明書は、市町村が被災住宅の調査を行い、発行することとなっているが、もしもの場合に迅速に対応できるように、マニュアルの作成、担当課職員の日頃の訓練なども必要ではないか。

【答 弁（総務課長）】

発行がスムーズに行えるよう、具体的な流れの再確認を行い、マニュアル作りにもむけ検討する。

「ゴミ」の戸別収集を

【答】必要性が高まっており、検討する

【質 問】

ごみ出しが困難な高齢者や障がいのある方などの生活支援の一つとして、戸別にごみの回収ができないか。

【答 弁（建設環境課長）】

近年、高齢者世帯が増える中、戸別収集の必要性が高まっている。今後は各関係部局との協議、ニーズ調査を行い、検討する。

就学援助の拡充を

【答】引き続き検討する

【質 問】

経済的に困難な児童生徒の保護者に対し支給されている就学援助について、国の基準であるクラブ活動費、生徒（児童）会費、PTA会費も対象とすべきでは。

【答 弁（教育部長）】

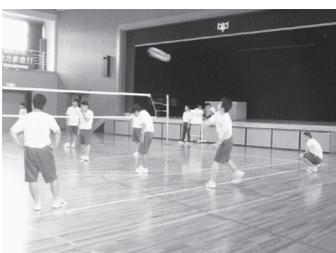
府内市町村の状況を確認したところ、半数以上がクラブ活動費等を対象としていた。本町の実態を踏まえ、さらに精査し、引き続き検討する。



福祉避難所



福祉避難所



クラブ活動費も対象に

英語に親しむ取り組みを

【答】A-LTの先生と事業内容を調整

【質 問】

宇治田原町を観光の町
へと進める上でも英語は
大切な言語になってく
る。年齢を問わず英語に
親しめるよう、生涯学習
という考えの中で、全町
的に英語に取り組めるよ
うに進めてはどうか。

【答弁(社会教育課長)】

生涯学習の観点から、
今後の英語学習について
は、A-LTと事業内容を
調整し、年齢を問わず英
語に親しめる機会を設定
し、趣向を凝らした英語
学習への取り組みを検討
していきたい。



英語で楽しく(ハロウィンパーティー)



山内実貴子
議員

防災マップ改訂版の周知を 【答】自主防災会の訓練等の機会をとらえ推進

【質 問】

宇治田原町防災マップ
が改訂され、町内各戸に
配布された。防災意識を
高め、その備えについて
考えるきっかけとなるよ
う、周知と啓発を。

【答弁(総務課長)】

今回配布の防災マップ
は2分割から町内を5分
割とし、自分の家の位置
や避難所までの経路がわ
かりやすい工夫を加え
た。区長会で説明をし、
今後も自主防災会の訓練

等、機会をとらえ防災
マップの有効活用の説明
を行う。

【質 問】

地域防災計画にある防
災週間について、具体的
な計画はあるのか。

【答弁(総務課長)】

毎年防災展示を行って
いる。昨年は図書館にも
防災関連図書展示も
行った。今年度も、先進
的な事例を参考に防災知
識の普及啓発を図りた
い。



18歳選挙権啓発チラシ・ハガキ

18歳選挙権への周知と対策は 【答】18歳19歳に啓発ハガキ送付、調査も

【質 問】

18歳選挙権の導入が開
始される。選挙権の行使
へ啓発など、どのように
進めるのか。法改正で同
伴が認められることを受
け、家族そろって投票に
行く機運を高めることが
ら進めてはどうか。

【答弁(総務課長)】

本町では18歳及び19歳

を対象に啓発ハガキを送
付した。また、投票所へ
の子どもの同伴につい
て、法改正の趣旨を広く
周知するためにも、機会
あるごとに啓発に努めた
い。さらに年齢別投票者
数の調査対象区を増や
し、投票率向上へつなげ
たい。

山手線のルート見直しは早急に

【答】京都府と協議し決定していく

【質 問】

府は今年度新規事業化に向け事業着手準備調査費を計上していただきたい。従前からの課題であるルート、法線の見直しが未確定である。地形的に高低差の激しい所、民家近くの狭隘部分、集落

の分断等々ルートが決まらないと調査も進まない。検討課題は克服できない。検討課題は克服できないのか。

【答弁(プロジェクト推進課長)】

今年度京都府において実施していただく調査の中で、最適ルートや工法をも含め調査し、地域の

声も十分に聴く中で京都府と協議し、事業評価委員会に図っていただく。

【質 問】

課題をクリアするとなれば大幅なルート見直しが必要である。住民への説明はもとより理解と協

力が前提となる。今後の進め方、手順及び工程表等を提示すべきである。

【答弁(建設事業部長)】

まずは、京都府に事業化の決定をいただくことが最重要で全力で取り組んで参りたい。



垣内秋弘
議員



整備中の新市街地

新市街地整備の進捗とまちづくりは【答】再更新準備中、土地利用模索

【質 問】

新市街地整備は長年にわたり砂利採取と埋め戻しが実施されてきた。平成25年8月に認可期限が満了したが3年間延長された。今年8月に完了す

るのか。現状の進捗状況と見通しは。

また、ゲリラ豪雨発生時土砂流出の恐れがあり端々に溝等を確保した対策と業者指導を願う。

【質 問】

【答弁(建設環境課長)】今年度末頃までの見通しであり、再度期間更新手続きの準備中である。また、防災対策として土砂流出を抑制する溝の設置を指導する。

【質 問】

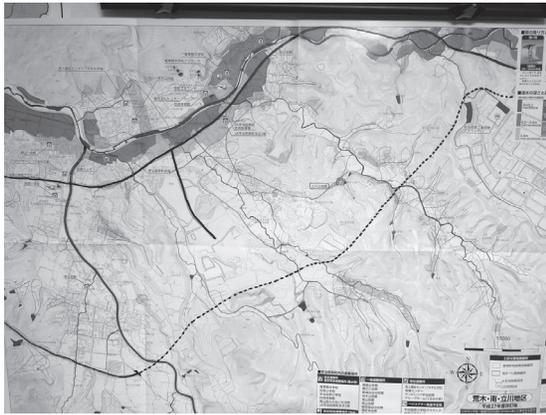
新市街地のまちづくり計画で庁舎建設が独り歩きしている。身近で親しみやすい庁舎とはギャップが大きい。南北線の整

備と周辺の環境が一体感を持つことが重要だが。

【答弁(町長)】

新庁舎の場所は特定できないが、シビック交流拠点で庁舎を目指すことにより周辺の土地利用や山手線への波及効果に繋がることを期待している。

南北線も平成32年の供用を目指し早期に取り組む。



早期のルート確定を

一貫教育、必然的に施設一体型

【答】指摘を真摯に受け止めたい



内田 文夫
議員

【質 問】

一貫教育に於ける施設一体型が分離型かの重要かつ基本となる案件は一日も早く教育委員会が責任をもって提示すべきである。少子化が加速する中で必然的に一体型にならないを得ない状況に追い込まれているのに、なぜ平然と無視するのか理解に苦しむ。

【答弁(教育長)】

少子化の中、必然的に施設一体型にならないを得ないとの指摘を真摯に受け止めたいと考えている。学校適正規模、教育効果に課題、等々整理を十分に行うなかで施設の

あり方を判断したい。

【質 問】

義務教育学校や施設一体型小中一貫校では制度を最大限利用し効果的な運営が見られる一方で小中一貫教育を標榜しながらも、実際には単なる教員の交換授業や小中学校合同の学校行事など、一過性で表面的な活動に終始奔走している学校も少なくない。又多くの自治体や学校にとって一貫教育は未知なる分野なのに、国が示す標準型や身近に先行例がなく不安な試行錯誤を余儀なくされ、大きな混乱や失態を避けようと、当り障りの

【答弁(教育長)】

若月前品川教育長のご意見に敬服をする。とりわけ教育の認識や意識を新たにし義務教育の質そのものを変えていくというご意見には感じるものがある。

【質 問】

教育長が決意として述べる「民意の反映」に於いて、「一貫教育に関しての民意の反映」の最重要点は、義務教育を権利として受ける児童・生徒

及びその親権者である両親の意の反映であると思

うが、その民意を如何なる方策でお取りになるのか、具体的に説明願いたい。

【答弁(教育長)】

教育施策に於ける民意は、アンケート調査を25年12月に実施し把握させて頂いている。

【意 見】

25年12月のアンケートに関しては、実施側の説明が不十分かつ具体的提案でなく答えにくかったとの反省報告もあることから再度実態に促した聞き取りを実施すべきである。



歴史に残る維孝館門

5歳児健診の現状は

【答】保育士と臨床心理士が観察している



原田周一
議員

【質 問】

乳児健康診査は3歳児まで、各成長段階に合わせた健康診査が実施されている。3歳までの健診では、集団行動などにおける問題点が発見されにくい。保育所や幼稚園で集団行動を過ごす過程

で、軽度の発達上の問題や社会適応性の問題などが、顕在化する場合がありますとされている。

発達障がいのある早期発見のため全国では5歳児健診を実施しているところもあるが、本町の取組みは。

【答弁（健康児童課長）】

母子健康法に基づき「幼児健康診査」「3歳児健康診査」を実施。3歳児以降は保育所の4・5歳児に対し保育士と臨床心理士が保育所での様子

を年4回観察している。専門的な視点を取り入れて支援が必要な児童を早期に発見し、個性に応じた支援の方法の検討などに努めている。

【質 問】

小学校との連携・情報の共有化は。

【答弁（健康児童課長）】

4・5歳児の集団保育の観察において支援が必

要と確認した児童については、保育士と臨床心理士が支援方法を検討し保護者と相談しながら、必要に応じて発達相談員や専門機関につなげている。

就学前には保幼小連絡会や就学指導委員会を開催。個々の発達に応じて配慮が必要な児童、発達障がいに係る専門的な支援が必要な児童など、関係機関での情報共有を行い、途切れない支援に努めている。

【質 問】
町外の幼稚園に通う児童についての支援が課題であるが、就学までに全ての児童への早期発見に向

けた今後の取り組みは。
【答弁（健康児童課長）】
満5歳児は町全体で89人。内49人が保育所でその他の児童は町内・町外の私立の幼稚園に通園。町内幼稚園は連携した取り組みが行われている。支援の機会がなかった幼稚園に対しても、今

後、園訪問や発達相談の取り組みを周知し、保護者に対しては、就学までに発達の課題に気づく事が出来るよう、発達障がいへの理解を深める為の啓発事業・発達相談事業の周知に積極的に努める。



町立保育所



幼稚園バス

議会基本条例に 基づく 議会改革の取り組み

地方議会改革のための議会基本条例が施行されて4年目を迎えようとしています。

この間、議会改革を目的とするのではなく、これを住民福祉の向上にどう役立てるかという観点から、住民の皆様の声に耳を傾け、議会の活動の組み立てを見直して参りました。今回は、その取り組み内容について、ご報告させていただきます。

議会報告会の開催

年2回(8月・2月)開催の定例化

意見交換会の開催

2 常任委員会ごとに各種団体等と意見交換および交流

委員会の閉会中の開催

これまでの年4回開催を原則毎月開催へ

委員会付託制度の導入

本会議審議体制から委員会審査中心体制へ移行(2 常任委員会及び補正予算特別委員会)

特別委員会の設置

補正予算特別委員会および新庁舎建設調査検討特別委員会

傍聴制度の改善

誰もが気軽に傍聴できるシステムづくりのため、傍聴規則等を改正
カメラ・ビデオ・録音等の持ち込み原則自由

選任同意議案の取り扱い

原則、選任者の所信聴取を実施

議員間討議(自由討議)の実施

当分の間、討議する議案を選別し、議員間討議を実施

宇治田原町老人クラブ連合会

会長 脇田 勝行 さん



今年、会長に就任された脇田勝行さんにインタビューしました。

Q. 町老連会長に就任されたご感想は。

A. 想定もしていなかった大役が当たり困惑していたが、私の性格から断りきれずにお受けしました。何もわからないので勉強しながら、皆様のご協力を得て任務を全うしていきたいと考えています。

趣味は
カラオケ・ゴルフ・グラウンドゴルフ・野球観戦と多彩！

Q. 町老連の概要・方針等についてお聴きします。

A. 本町の老人クラブは、今年50周年を迎え節目の年に当たります。22クラブ1,346人の会員で組織運営しています。基本方針としては一人ひとりの生き甲斐の充実を基盤に「健康、友愛、奉仕」の三大運動をはじめとして多彩な活動を推進するようにしています。

Q. 今後、必要に応じて改革すべきことはありますか。

A. 各地区の会長が連合会の役員に当たるが、連合会の長がなかなか決まらないので今後は、地区ごとに回り持ちの方法も検討していきたいと考えています。

Q. 全国的に会員数が減少傾向と聞かすが、本町の実態と社会とのつながりは。

A. 本町でも会員数は微減状態であり、若手高齢者等の加入促進による組織強化と活性化を図りながら地域社会の一員として、安心して暮らせる地域づくりに役割を果たしていきたいと考えています。



町老連の総会の様子

平成28年度 第1回議会報告会

(通算 第5回)



日時：平成28年8月7日(日) 午後1時30分～3時30分

場所：宇治田原町総合文化センター 3F 研修室1

内容：第1部 議会報告 3月～6月議会について
第2部 意見交換
①新庁舎 ②山手線
③空き家 ④子育て支援
⑤健康長寿社会 ⑥その他

※保育ルームを、3階和室で開設いたしております。ご利用の際は、当日スタッフにお声かけください。



トライアルキッズ



風鈴まつり (奥山田)

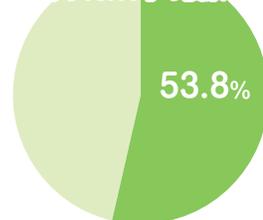


18歳選挙権始動

今夏、7月10日投票日の参議院選挙より、選挙権年齢が18歳に引き下げられました。

当議会では、投票率向上へ年齢別投票者の調査の拡充、主権者教育、期日前投票の利便性などを提案して参りました。今後も効果的な投票率向上への取り組みを推進して参ります。

参院選
府の18.19才の投票率



(府選管 抽出調査)

今号の表紙

梅雨の晴れ間の小学校プールでの一コマ：

「水難事故ゼロ」を目指し着衣水泳を体験し授業を受ける児童たち。

編集後記

猛暑と予想されているこの夏。子ども達にはプール遊びが楽しみな季節でもありません。

今年も宗円生家ではさまざまなあじさいが色とりどりの花を咲かせました。そこでは、まちなかと少し違うさわやかな風が吹いている気がします。是非、足を運んでみて下さい。9月30日は町制60周年記念日です。この夏から秋にかけて記念の行事や祭りなど、まだまだあつい宇治田原となりそうです。熱中症など、お身体には十分にお気を付け下さい。

広報編集委員長

山内実貴子